

医師確保計画推進事業の概要

【内容】
 > 医師確保計画の推進のため、県内各圏域の医療機関等が実施する必要な取組みを支援（医療介護総合促進基金を充当）

【事業主体】
 > 「医師少数区域」及び「医師少数スポット」に所在する病院、郡市医師会、地域医療連携推進法人、へき地診療所、市町村等

【対象経費】
 > 医師確保計画の推進を目的とした次の事業に係る経費

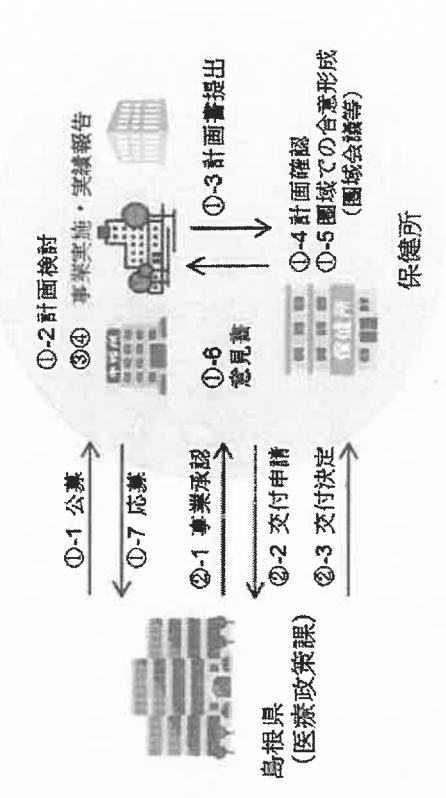
事業区分	基準額	留意事項
① 医師を確保するために圏域の医療機関や自治体と連携して実施する医師招聘事業	—	【対象経費】 報償費、職員等旅費、需用費（消耗品費、印刷製本費）、役員費（通信運搬費、広告料、手数料）、委託料、賃借料及び使用料
② 県内の医師多数区域又は県外から新規に常勤雇用する者又は新規に非常勤雇用する者を対象として、当該医療機関に1年以上勤務することとを返還免除の条件とする資金貸与制度を設け、当該制度に基づき貸与を行う事業	2,000千円/名	【対象外】 ① 県の医学生向け奨学金、研修医研修支援資金の貸与を過去に受けた者 ② 自治医科大学卒業業者（義務年限内） 【非常勤医師】 勤務日数等を勘案して知事が適当と認める者に限って対象
③ 県内の医師少数区域又は医師少数スポットに所在する病院、へき地診療所へ医師の派遣（定期的な派遣に限る）を行うことで生じる逸失利益	1,250千円/月 ※派遣医師1名あたり	【逸失利益の計算式】 医師1名が1ヶ月における利益×派遣医師数×派遣月数

【補助基準額及び補助率】

> 1事業あたり基準額10,000千円（補助率1/2）
 ※①～③を組み合わせて申請可能 ※事業に係る収入（寄附金等）がある場合はその額を控除

【想定事業例】
 > 病院が民間企業と協力（委託）し、当該病院を拠点としつつ、連携する開業医のも
 とで手技等を学ぶ等の魅力的なプログラムを構築・提供することで、地域医療を
 指す医師を全国から招聘する取組み
 > 医師転職支援企業と連携して医師多数区域より医師を招聘し、当該医師へ貸付金
 を貸与することで定着を図る取組み

【その他】
 > ①～③を組み合わせて申請可能。
 （例：①5,000千円＋②2,000千円＝事業費7,000千円）



医師確保計画推進事業 事業計画書

事業者名：島根県済生会江津総合病院

事業種目	事業主体	事業実施期間	確保する医師数 (注1)	連携先 (注2)	事業内容 (注3)	交付申請予定経費 (注4)
連携事業						
資金貸与事業 (注5)	済生会江津総合病院	R3. 4. 1～R4. 3. 31	2人		新たに雇用した医師に対して勤務中における必要な研修を受ける為の資金貸与を行い、当院への赴任を促進する。 (ただし、当該資金は、当院において1年以上勤務することを返済免除の条件とする。)	資金貸与は、3,000千円 ※詳細は様式1別紙1の2のとおり
逸失利益 (注6)						

注1) 本事業により確保する医師数を記載すること。非常勤医師を確保する場合は、常勤換算すること。
 注2) 連携事業を計上する場合は、必ず連携先を記載し、かつ、事業内容欄には連携内容及び連携により期待される効果を具体的に記載すること。
 注3) 審査に用いるため、本事業が医師確保計画の推進に資する取組みであることを分かりやすく記載し、必要に応じて資料を添付すること。
 注4) 交付申請予定経費は可能な限り詳細に記載すること。なお、寄付金その他の収入を充当する場合は、充当経費と充当額を記載すること。
 注5) 資金貸与事業を計上する場合は、本書と併せて、様式1別紙1の2を提出すること。
 注6) 逸失利益を計上する場合は、本書と併せて、逸失利益の計算内容の詳細を記載した資料 (任意様式) を提出すること。